

こんにちは

酒井まさえ



2023年11月5日 No.156 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 3312-2111
090-9325-5676 sakaimasae.0507@gmail.com

区議会第3回定例会 一般質問

国保料 値上げ抑制へ 区の努力を求める

国保会計の歳入総額に対する
国庫支出金、都支出金の比率

年度	国庫支出金比率	都支出金比率
1975年度	55.32%	23.95%
2017年度	18.97%	5.76%

来年度の保険料を検討するにあたって、国・都に対し、財政負担の強化を求めるときと迫りました。

区長が答弁に立ち『特別区長会から、保険者に対する更なる財政支援や、被保険者の負担軽減策の拡充などについて要望している』と答えました。

第3回区議会定例会で区議団は「国民健康保険」と「住宅施策」について一般質問しました。

保険料値上げの要因は、国・都の大幅な財政削減

今年度、国民健康保険料は大幅な値上げとなりました。たとえば、年収400万円40代夫婦と子ども2人の世帯の年間保険料は54万円余で年収の14%にも達します。この世帯の2010年度の保険料は24万7千円余で年収の6・2%でした。13年間で2倍以上の値上げです。

国保料の値上げが毎年押しつけられる要因の一つは、国・都が財政責任を果たしていないことです。質問で、杉並区の国保会計の歳入決算額に対する国と都の支出金が激減していることが浮き彫りになりました。

さらに、国は国保改革で財政投入を拡充したとされていますが、過去の質疑で、国と都の負担は19億円減額となったことは、区自ら認めています。

一般会計からの法定外繰入継続を

値上げのもう一つの要因は、国が自治体に対し、保険料の値上げを抑えるために行っている一般会計からの法定外繰入を令和6年度までに廃止せよと迫っていることです。繰入が廃止になれば保険料は大幅に値上がってしまいます。

国と都の財政支援が拡充されない限り、高すぎる保険料の抑制のためには、区独自の財政支援が必要です。来年度の保険料検討において、法定外繰入も含め対応するよう求めました。

区は『法定外繰入は、保険料の上昇を抑制する場合だけでなく保険料の収入不足等の充当財源となっているため必要になる』と答えました。

引き続き、保険料の値上げ抑制のために、力を尽くします。

共産党区議団の国保料アンケートに寄せられた声

- 「あらゆる物価が高くなり支出が負担になっている。国保料の値上がりも負担である」
- 「退職し、協会けんぽから移行した。国保料が高く将来への不安を覚えた」
- 「映画、演劇等文化費への支出が少なくなり、ゆとりがなくなっている」



公営住宅の拡大、家賃助成早期実施を迫る

高い家賃に苦しむ区民の叫びを受け止めよ

杉並区は、23区のなかでも借家世帯が多く、その大半が民間借家で、かつ公営住宅が少ないことが特徴です。(下表)

共産党区議団のアンケートには「家賃の支払いが大変」「公営住宅に入れない。物価高騰が家賃を直撃し、家賃の工面に苦労している」などの声が多数寄せられています。



物価高騰対策の申し入れを行う



10月16日議場にて

	杉並区	23区
住宅総数に占める 民間借家の割合	50.1%	43.5%
借家数に占める公 営借家の割合	2.2%	6.3%

の拡大、②民間賃貸住宅入居者への家賃助成の実施、この二つを柱に、住宅施策に取り組むべきと迫りました。

区は、『区民の生活実態の把握や様々な声を真摯に受け止め、必要な施策を検討していかなければならない。公営住宅の提供や家賃助成の検討など、住宅施策を着実に推進していく』との認識を示しました。

物価高騰のいまどき、家賃助成実施を

岸本区長のもとで、来年度の家賃助成の創設に向けて検討が進められています。物価高騰が深刻な今こそ実施に踏み出すべきと、今年度中の実施を求めました。

区は『規模や助成期間、金額、対象など様々な課題があり、検討には一定の期間が必要。来年度実施に向け検討を進めており、ご理解いただきたい』と答弁しました。

健康の話 おしゃべりについでに

みなさんは、毎日のくらしおしゃべりしていますか。コロナ禍で、おしゃべりすることが思うようにできないことがありました。だんだんもとに戻りつつあります。

「おしゃべりは健康に役立つ」とも言われています。おしゃべりが脳にもたらす効果があります。

① どんな効果があるかあげてみます。

② **脳が活性化**する。脳の広い範囲が刺激されるので、脳の働きが活性化され、有効な脳トシの一つとなります。

③ **ストレス解消**になる。心に悩みや不安があるのをためておくと、だんだん大きくなってしまふことがあります。ため込まないで誰かに話すと考えが整理され、頭がすっきりします。

④ **人とのつながりが生まれる**。おしゃべりは良好な人間関係を築くために重要です。人とのつながりは、生きがいや楽しさを感じさせてくれます。

おしゃべりにもいろいろありますが、健康にいいおしゃべり、脳が喜ぶおしゃべりがいいです。

前向きな話で、楽しい会話を心がけましょう。
新しいこと、知らないことを学んで脳を刺激しましょう。
相手とのキャッチボールを大切にしましょう。

おしゃべりは楽しいだけでなく、たくさんの健康効果があるということを知っていただけましたか。高齢者は認知症予防にもなります。

お困りのことがありましたら

酒井にご連絡ください。

